

日本建築学会 環境工学委員会建築設備運営委員会 2011 年度第 3 回 議事録

- A. 日時 2011 年 7 月 20 日 (水) 16:00～18:00
B. 場所 建築学会 (307 会議室)
C. 出席 主査：羽山広文、幹事：柳井崇、郡公子、委員：(赤司泰義)、(秋元孝之)、石川幸雄、石野久彌、(猪岡達夫)、宇田川光弘、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、(古賀誉章)、小林陽一、坂上恭助[代理：丸山秀行]、(佐野武仁)、(清水昭浩)、(高井啓明)、高草智、千葉隆文、(仲野章生)、(中野淳太)、二宮秀與[代理：木下泰斗]、(野部達夫)、本間睦朗、(吉田治典)
()付きは欠席、敬称略・順不同)

D. 配付資料

- 資料 No.3-1 2011 年度第 3 回建築設備運営委員会議事次第
資料 No.3-2 2011 年度第 2 回建築設備運営委員会議事録案
資料 No.3-3-1 良質なストック形成検討小委員会の委員の推薦について
資料 No.3-3-2 日本建築学会教育賞の候補者推薦について
資料 No.3-3-3 環境工学分野における震災対応の提言について
資料 No.3-3-4 照明環境に関する緊急提言
資料 No.3-4-1 環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベル検討小委員会議事録 (第 2 回)
資料 No.3-4-2 環境選択型空調設計小委員会 議事録(案)
「環境設備デザインの再興と SAIKO(最古・再考・Psycho、最高)―温熱環境を選択させる意義とその可能性―」シンポジウム
資料 No.3-4-3 2011 年度第 1 回気象データ小委員会議事要旨(案)
資料 No.3-4-4 次世代排水システム小委員会第 14 回議事録
資料 No. 3-4-5 2011 年度第 3 回環境建築設計法小委員会議事録案
資料 No. 3-4-7 シンポジウム”見る・使う・学ぶ環境建築”
資料 No.3-5 第 7 回建築設備シンポジウム「環境建築の最新性能について考える」
資料 No.3-6 大会研究懇談会 建築設備分野の最前線

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され承認された (資料 No.3-2)。
2. 環境工学本委員会からの依頼事項について審議された。
 - 1) 良質なストック形成検討小委員会の委員の推薦について (資料 No.3.3.-1)
 - ・ 学術推進委員会で設置が承認された小委員会の委員として、建築の長寿命化、良質なストック形成に関心のある人材の推薦依頼があり、審議の結果推薦なしとした。
 - 2) 日本建築学会教育賞の候補者推薦について (資料 No.3.3.-2)
 - ・ 本賞は、2010 年度より公募ではなく支部、調査研究委員会の推薦による募集のみになった。該当する教育について審議されたが、候補者推薦には至らなかった。
 - 3) 環境工学分野における震災対応の提言について (資料 No.3.3.-3、4)
 - ・ 本委員会より各運営委員会に対して、震災対応に関し 3 つの提言を提示しその提言対象を分類表に示すよう依頼があった。この提言は、大会研究協議会で発表される予定である。
 - ・ 提言例として、光環境運営委員会より出された「照明環境に関する緊急提言」が紹介された。照明環境基準の再構築までは JIS を遵守した上で照度を推奨値から 1 段階以上下げることが提案されている。
 - ・ 設備運営委員会としての 3 つの提言案が、羽山主査より説明された。内容は、(1)適切な窓の配置や断熱・遮熱計画と被災時を想定したパッシブ建築、(2)被災時の建築設備の BCP (建物の重要度に合わせた建築設備の耐震性能の確保、水・熱・エネルギーの備蓄機能の確保)、(3)エネルギー源の多様化・高信頼度化とベストミックス、である。この提言案には、石野委員、二宮

委員からの提案も含まれている。

- ・ 提言案について審議された。提言の立場として、各建物の震災対策を推奨する立場と、学会活動方針を宣言する立場の2つがある、住宅と非住宅の視点、避難、耐震・安全保障、ゼロエネルギー・エネルギー自立の視点があってよい、ZEB に関しては建物単位の ZEB ではなくエリア単位の ZEB を目指す方向がある、非常時を重視した設備とすると日常的には過剰設備になりやすいので、建物用途の非常時の重要度に応じて信頼性を確保することが現実的である、短期的直接的視野より長期的視野にたつ提言がよいのではないかなどの意見が出された。
- ・ 提言案の修正は主査に一任することになった。

3. 小委員会の活動報告

1)環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベル検討小委 (石川主査、資料 No.3-4-1)

- ・ 7/4 開催の小委員会では、環境・設備要求項目の整理、IT 化の課題報告などがされた。

2)環境選択型空調設計小委 (代理説明：羽山主査、資料 No.3-4-2)

- ・ 7/14 開催の小委員会では、12/6 開催予定のシンポジウム「環境設備デザインの再興と SAIKO (最古・再考・Psycho、最高)」について審議された。

3)気象データ小委 (代理説明：木下委員、資料 No.3-4-3)

- ・ 6/4 開催の小委員会では、2007 年までの EA データの整備などについて審議された。

4)次世代排水システム小委 (代理説明：丸山委員、資料 No.3-4-4)

- ・ 7/5 開催の小委員会では、SHASE-206 の改定、規格化の方針、自立 (災害対策) 給排水について審議された。

5)環境建築設計法小委 (羽山主査、資料 No.3-4-5)

- ・ 7/16 開催の小委員会では、新千歳空港の見学を行い、シンポジウムや研究懇談会の内容について審議された。

6)前年度「建築一体化設備のデザイン」出版小委 (石野主査、資料 No.3-4-7)

- ・ 設備運営委主催で、シンポジウム”見る・使う・学ぶ 環境建築”を 9/21 に開催する。

4. 2011 年度第 7 回建築設備シンポジウムについて (資料 No.3-5)

- ・ 現在、執筆依頼中である。学会ホームページの催し物に掲示されている。
- ・ 柳井幹事を中心に企業の委員が集合して、動員のための打合せを行うことになった。環境建築のシンポジウムの動員も併せて早めに準備する。

5. 大会研究懇談会について (郡幹事、資料 No.3-6)

- ・ 大会 1 日目に開催される研究懇談会に設備運営委員会から発表される内容について説明された。出版物「見る・使う・学ぶ環境建築」、建築設備シンポジウム、EA 設計用気象データの紹介をする。

6. 次回予定 2011 年 9 月 20 日(火) 17:00～ 於：建築会館

(文責：郡)